

NMVOC 排出量算定方法の改善について (NMVOC タスクフォース)

1 . 検討の背景

NMVOC 排出量については、京都議定書の対象ガスではないことから、算定方法についてこれまで十分に検討されてこなかった。一方、国内の NMVOC 排出量については、環境省において「環境省 VOC 排出インベントリ」が整備されているが、温室効果ガスインベントリとは異なる算定方法を使用しているため、両者の間で排出量に乖離が見られる。

また、我が国の産業界では、大気汚染防止法に基づき、NMVOC の排出削減努力を進めてきているが、現行の温室効果ガスインベントリにはその削減成果が十分に反映されていないため、可能な限り早期の算定方法改善が必要な状況にある。

そこで、2013 年以降の温室効果ガスインベントリ作成を見据え、算定精度が低いと考えられる NMVOC 排出量の算定方法を精緻化するために、平成 24 年度よりインベントリワーキンググループの下に NMVOC タスクフォースを設置し、集中的な検討を行うこととした。

2 . 検討方針

各排出源の算定方法については、基本的には VOC 排出インベントリのデータが適用可能な場合、当該データを適用することにより算定精度の改善を図る。ただし、VOC 排出インベントリは、算定対象年度が 2000 年度及び 2005 年度以降のみであるため、VOC 排出インベントリより入手可能なデータもそれらの期間に限定される。そこで、VOC 排出インベントリの算定対象外である 1990 ~ 1999 年度及び 2001 ~ 2004 年度については、ヒアリング調査や文献調査により、算定に必要な活動量・排出係数データ、排出量の増減傾向・VOC 削減対策の状況等の情報収集を行い、実態を踏まえた排出量算定方法及びデータ補間方法を検討する。

3 . 平成 25 年度の検討状況

平成 25 年度は、年度内に計 3 回の NMVOC タスクフォース (TF) を開催し、分野別に検討を行った。検討結果は、平成 27 年 4 月提出予定の 2013 年インベントリに反映する予定である。

各課題の検討状況は以下の通りである (の排出源は継続検討となった排出源)。

(1) 既存排出源に関する課題

現行の温室効果ガスインベントリで排出量を計上している排出源 (既存排出源) のうち、最新の排出実態を反映していないと考えられるものについて、算定方法の精緻化を検討した。

➤ 主な検討対象排出源と検討時期

✓ H25 第 1 回 TF (2013 年 7 月 16 日)

「1.B.燃料からの漏出」、「2.工業プロセスと製品の使用 (旧 : 3.溶剤及びその他製品の利用)」

◆ 石油の精製及び貯蔵

- ◆ 石油の供給（給油所）
- ◆ 塗料の使用
- ◆ ドライクリーニング
- ◆ 金属洗浄
- ◆ 印刷用溶剤使用
- ◆ ラミネート接着剤
- ◆ 溶剤系接着剤使用
- ◆ ゴム用溶剤使用
- ✓ H25 第 2 回 TF（2013 年 11 月 7 日）
 - 「2.工業プロセスと製品の使用（旧：3.溶剤及びその他製品の利用）」
 - ◆ 塗料の使用
 - ◆ 金属洗浄
 - ◆ 印刷用溶剤使用
 - ◆ 溶剤系接着剤使用
 - ◆ ゴム用溶剤使用
- ✓ H25 第 3 回 TF（2013 年 2 月 27 日）
 - 「2.工業プロセスと製品の使用（旧：2.工業プロセス）」分野
 - ◆ 化学品
- 主な検討事項
 - ✓ 実態を反映した活動量の設定とデータ欠損期間の推計方法
 - ✓ 最新の実態を反映した排出係数・パラメータの設定

（2）未計上排出源に関する課題

環境省 VOC 排出インベントリ等、既存の他の VOC 排出量算定事例において排出が確認され排出量が計上されているにも関わらず、現行温室効果ガスインベントリでは未計上となっているため追加計上を検討する必要がある排出源について、算定方法の検討を行った。

- 主な検討対象排出源と検討時期
 - ✓ H25 第 1 回 TF（2013 年 7 月 16 日）
 - 「1.B.燃料からの漏出」、「2.工業プロセスと製品の使用（旧：3.溶剤及びその他製品の利用）」
 - ◆ 石油の輸送
 - ◆ 天然ガスの処理
 - ◆ 天然ガスの供給
 - ◆ 製造機器類洗浄用シンナー
 - ✓ H25 第 2 回 TF（2013 年 11 月 7 日）
 - 「1.B.燃料からの漏出」、「2.工業プロセスと製品の使用（旧：3.溶剤及びその他製品の利用）」
 - ◆ 石油の輸送

- ◆ 製造機器シンナー洗浄
- ◆ 粘着剤・剥離剤
- ◆ 反応溶剤・抽出溶剤等
- ◆ 防虫剤・消臭剤
- ◆ エアゾール噴射剤
- ◆ 化粧品
- ◆ 洗車・補修用品
- ✓ H25 第3回 TF(2014年2月27日)
 - 「1.A.燃料の燃焼(運輸)」、「2.工業プロセスと製品の使用(旧:2.工業プロセス)」
 - ◆ 自動車・二輪車からの燃料蒸発ガス(運輸分科会にて検討)
 - ◆ 粘着剤・剥離剤
 - ◆ 反応溶剤・抽出溶剤等
 - ◆ 防虫剤・消臭剤
 - ◆ エアゾール噴射剤
 - ◆ 化粧品
 - ◆ 洗車・補修用品
 - ◆ 食料品等発酵
- 主な検討事項
 - ✓ 未推計排出源の特定
 - ✓ 実態を反映した活動量の設定とデータ欠損期間の推計方法

4. 継続検討課題

平成26年度も引き続き検討を行う予定の課題を以下に示す。

- 既存排出源に関する課題
 - ✓ 「2.工業プロセスと製品の使用(旧:2.工業プロセス)」
 - ◆ 化学品
- 未計上排出源に関する課題
 - 「1.A.燃料の燃焼(運輸)」、「2.工業プロセスと製品の使用(旧:2.工業プロセス・3.溶剤及びその他製品の利用)」
 - ◆ 自動車・二輪車からの燃料蒸発ガス(運輸分科会にて検討)
 - ◆ 粘着剤・剥離剤
 - ◆ 防虫剤・消臭剤
 - ◆ 化粧品
 - ◆ 洗車・補修用品
 - ◆ 食料品等発酵
- 主な検討事項
 - ✓ 排出源の捕捉範囲の確認、活動量設定方法の精査等